

# 会 議 録

## (1)会議概要

会 議 名	令和6年度 第11回泉大津市参画と協働のまちづくり推進会議		
開催日時	令和7年2月7日（金）19時00分～21時00分		
開催方法	泉大津市役所3階大会議室にて対面での開催		
出席者	委 員	久委員長、河合副委員長、大久保委員、金原委員、中井委員、南委員、川上委員、花内委員、日高委員	
	事務局	東山政策推進部長、近藤市民協働推進課長、森田市民協働推進課長補佐、原田市民協働推進課係員、寺田おづぷらざセンター長	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
会議次第	1 開会 2 令和6年度事業報告及び令和7年度の主な取り組みについて 3 閉会		

(2)議事内容

○以下、事務局による進行

1. 開会

- 東山政策推進部長あいさつ
- 委員紹介、事務局紹介
- 資料確認
- 会長あいさつ

○以下、会長による進行

2. 案件

事務局より「令和6年度事業報告及び令和7年度の主な取り組みについて」を説明  
(記録省略)

その後、委員による質疑応答

委員からの主な意見・指摘事項等	
<b>■ 市民団体によるイベントの周知方法等について</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ イベントの日程が複数団体で重複し、参加者数を最大化できていない点が課題であり、市及び団体間で共有しながら、スケジュール調整ができる仕組みが必要ではないか。</li><li>・ 各団体に対する講座・研修においてはPR媒体を作成するツールの活用方法のみでなく、デザインの重要性に対する理解を深める内容を充実させる必要があるのではないか。</li><li>・ その他、団体の新規人材（後継者）獲得に繋がる講座等、幅広い内容の展開を期待する。</li></ul>
<b>■ 団体活動や団体の在り方について</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自治会役員自身取り組みたいと感じることを中心に取り組んでいけば、自然と自治会活動は楽しいものになっていくのではないか。</li><li>・ 自治会の負担を増やしている要因のひとつに市からの依頼がある。市としても自治会との関係性を見直していくことが必要ではないか。</li><li>・ 近隣自治会との連携・広域化や役員定数等の撤回をひとつの選択肢とすることで、持続可能な自治会活動につながるのではないか。</li><li>・ 他市では、校区まちづくり協議会が正式な委託事業者として、広報紙の配布や小学校の放課後事業を請け負っており、安定的な収入確保につながっている事例がある。</li></ul>

<p>■ <b>ながら見守り活動について</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府のアスマイルやいずみおおつマイ・レコのような住民にウォーキング等の定期的な運動を促すことで市民の健康増進を図るサービス内での PR や連携をしてはどうか。</li> <li>・啓発物品のデザインについて、色々と検討してほしい。Tシャツ等、より「着用したい」と思えるようなデザインにすることで、積極的な参加に繋がり、さらなる啓発効果が実現されると考える。他市では、実際にユニフォームのデザインに魅力を感じ、多く方からの参加に繋がっている事例があるため、参考にしてほしい。</li> </ul>
<p>■ <b>市民公益活動クラウドファンディング活用制度について</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の活用に至るように、制度の周知方法等についても検討してほしい。寄附に伴う税控除制度をより広く周知するとともに、複数団体での活用など、活用条件等の見直しを行うことで、制度活用の機会を増やしていく必要があると感じる。</li> <li>・クラウドファンディングという仕組みは、プロジェクトに対して大衆が持つ興味や共感を図る指標にもなるため、積極的に活用されるよう支援して欲しい。</li> </ul>

○以下、事務局による進行

### 3. 閉会（記録省略）